2　経営力向上の実施方法に関する事項

以下の４つの力を向上させる。

イ・ロ　（略）

ハ　造る力（生産効率・品質の向上）

（略）

・　更なる先進的な取組みとしては、情報技術やセンシング技術等を最大限利活用することにより、①デジタル設計ツール（３Ｄ　ＣＡＤ・ＣＡＭ等）の導入、②自動化の更なる進展、③人の動きや作業の自動データ化、④３Ｄ画面やウェアラブル機器、アシストスーツ等による現場技能者の身体・判断能力を実質的に高めるための装備の導入、⑤部品管理の効率化、⑥構外事業者との連携、⑦ロボットの活用（人が行う業務を代替又は支援するロボットの導入、既存の設備のより高性能なロボットによる代替、又はそれらのロボットを増設すること等ができるロボットの導入）、⑧設計から建造までの工程におけるデジタルデータ、ＡＩ（各現場の状況に応じて生産設計を最適化するＡＩ）の導入、⑨生産効率化の検討をデジタル空間上のシミュレーションで可能とするデジタルツイン技術の導入等による船舶産業における製造プロセスの革新等も有効である。

ニ　人の力（人材確保・人材育成）

（略）

・　さらに、ＡＩ・ＩＴを利活用して製品の付加価値を高めることが人手不足の緩和や経営力の向上につながることから、社内のＡＩ・ＩＴ人材を育成することは非常に重要である。社内でのＡＩ・ＩＴ人材の確保が困難な場合には、外部の専門家を活用することが有効である。

・　加えて、自動運航船をはじめとした、これからの船舶の性能や付加価値は、各システムの優劣によって大きく左右されるようになることから、個々の機器を統合し、優秀なシステムを設計・供給できる者（システムサプライヤー）の育成も有効である。

・　このほか、優秀な技能者の表彰等による適切な評価、女子寮や社内育児所の設置や労働安全衛生環境マネジメントシステムの導入等により、就労環境の改善に取り組む。

他の事業者との連携等強化にあたっては、事業者間における連携又は他の事業者から事業承継等を行うとともに、商品の生産若しくは販売又は役務の提供の方法を効率化するため、現に有する経営資源及び他の事業者から取得した又は提供された経営資源を有効に組み合わせて一体的に活用する。

3　規模別の整理

イ～ハ　（略）

上記の状況を踏まえ、推奨する経営力向上の実施の方法を以下の表にまとめる。

分類	小規模事業者	中規模事業者	中堅事業者
（略）	（略）	（略）	（略）

2　経営力向上の実施方法に関する事項

以下の４つの力を向上させる。

イ・ロ　（略）

ハ　造る力（生産効率・品質の向上）

（略）

・　更なる先進的な取組みとしては、情報技術やセンシング技術等を最大限利活用することにより、①デジタル設計ツール（３Ｄ　ＣＡＤ・ＣＡＭ等）の導入、②自動化の更なる進展、③人の動きや作業の自動データ化、④３Ｄ画面やウェアラブル機器、アシストスーツ等による現場技能者の身体・判断能力を実質的に高めるための装備の導入、⑤部品管理の効率化、⑥構外事業者との連携、⑦ロボットの活用（人が行う業務を代替又は支援するロボットの導入、既存の設備のより高性能なロボットによる代替、又はそれらのロボットを増設すること等ができるロボットの導入）等による船舶産業における製造プロセスの革新等も有効である。

ニ　人の力（人材確保・人材育成）

（略）

・　さらに、ＩＴを利活用して製品の付加価値を高めることが人手不足の緩和や経営力の向上につながることから、社内のＩＴ人材を育成することは非常に重要である。社内でのＩＴ人材の確保が困難な場合には、外部の専門家を活用することが有効である。

（新設）

・　このほか、優秀な技能者の表彰等による適切な評価、女子寮や社内育児所の設置や労働安全衛生環境マネジメントシステムの導入等により、就労環境の改善に取り組む。

（新設）

3　規模別の整理

イ～ハ　（略）

上記の状況を踏まえ、推奨する経営力向上の実施の方法を以下の表にまとめる。

分類	小規模事業者	中規模事業者	中堅事業者
（略）	（略）	（略）	（略）